◎ 公開特許公報(A) 昭62-198768

(SI)Int Cl.4 G 01 R 15/07

庁内整理番号 辯別記号

❸公開 昭和62年(1987)9月2日

C-8606-2G

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

光フアイバ型電圧センサ 63発明の名称

> 20特 頭 昭61-42214

22/H 頭 昭61(1986)2月27日

塚 訓 73発 明 者 石 冗杂 明 者 鎌 m 條 澄 子 森崎 冗発 明 者 ②発 明 者 戸田 和 郎 大 典 ⑫発 明 者 石 河 金 山 光 一 70発明者 ⑪出 類 人 松下電器産業株式会社 弁理士 中尾 敏男 30代 理 人

門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

門真市大字門真1006番地

外1名

明 細

1 、発明の名称

光ファイバ型電圧センサ

2 、特許請求の範囲

半導体レーザを光源として使用し、偏波面保存 型光ファイバを入力側光ファイバとしてマルチモ ード型光ファイバを出力側光ファイバとして各々 使用し、前記入力側光ファイパから出射する直線 偏光が、少なくともポッケルス材料と写被畏板及 び検光子とを通過して前配出力側光ファイバに入 射してなる光ファイバ型電圧センサ。

3、発明の詳細を説明

産業上の利用分野

本禁眼はポッケルス効果を用いた光ファイバ型 電圧センサに関する。

従来の技術

BSO, Li NbOa, ZnS 等の電気光学結晶のポ ッケルス効果を利用して高圧送電線などの電圧を 光学的に測定する光ファイバ型電圧センサは、絶 総性や電磁誘導ノイズの点ですぐれており、抵抗 **分圧法やコンデンサ分圧法などによる電気的測定** 法に比較して多くの長所を有しているため、近年、 積極的に開発が行なわれている。

従来の光ファイバ型センサは、例えば、電気通 信学会技術研究報告(OQE82-59)に示す よりに、第2図のような構成となっていた。双方 向で用いる入,出力兼用光ファイバ1と自己集束 件ロッドレンズ2の一端側との間に、1枚の復屈 折材料(ルチル平板)3を置いて偏光分離機能を 持たせ、また、自己集束性ロッドレンズ2の他端 には、電極 4 を有するポッケルス材料(本従来例 では、LiNbOa 単結晶)5と分波長板6及び反 射板でを配置して、反射光学系を構成する。入出 力排用光ファイバ1の手前には分岐器8があって、 入力光ファイバ9からの光lin を入出力兼用光 ファイバ1に通し、また、入出力兼用光ファイバ 1 から逆方向に帰ってきた信号光 &outを出力光 ファイバ10に分岐する。

との動作原理を説明すると、入出力兼用光ファ イバ1から出射した光&inはルチル平板3で直線 関土になり、ボッケルス材料 6 及び 1 放 長坂 6 を 透透後、ミラーマで反射され、再び 1 放 皮 仮 6 を びボッケルス材料 6 を 通過後、ルチル平板 3 で 6 北 5 介 離 されて、入出力 兼用 先 ファイバ 1 に 受 光さ れる。ボッケルス 材料 6 は 電 界に 1 り 損 5 まる た む た る。ボッケルス 材料 6 は 電 界に 1 り 異 る る た む た 通 過 する 光 の 位 相 が 変 わ り、 構 円 個 光 と なる る こ の 個 先 也 な 後 走 子 に 当 た る ル チ ル 平 板 3 で 偏 光 力 離 し、 強 渡 変 化 に 変 換 する 。 と こ で、 ボッ ケルス 材料 5 を 通 過 する 光 が 電 界 に 1 り 受 ける 光 す か の 位 相 差 4 ∮ は 印 加 電 界 微 度 区 に 比 例 する 。 す な わ ち

4 ≠= k E ただし k : 比例定数 ………(1) となる。

また、光線は另変長板を往復することにより、 π/2 の位相差を受ける。従って、この場合の出 力光強度は、

$$P \propto 1 - \sin (d\phi)$$
(2)

となり、 4 ¢ が小さい時には、

$$P \propto 1 - 4 \phi = 1 - k E$$
(3)

となるが、この距離が長い程入力光ファイバから 出力光ファイバへ結合する光の損失が増大する要 因となるとともに厳しい軸合せ精度が要求される。

問願点を解決するための手段

本発別は、上記の問題を解決するために、半導 体レーザを光碟として使用し、偏波面保存型光フ ァイバを入力側光ファイバとしてマルチモード型 光ファイバを出力型光ファイバとして各々使用し、 前記入力側光ファイバから出射する直接個光が、 少なくともボッケルス材料とK被長板及び検光子 とを通過して前記出力側光ファイバに入射するも のである。

作 用

本発明は上記の方法により、副定精度が向上するとともに、接着用で聞定する光学部品のりち、同上が用いた子を省略するとができるため、信頼性の小が期待でき、またコア後の小さい光ファイバへの光の結合となるため、損失増加を防ぐことが可能となるものである。

実 施 例

となり、電界強度Eに比例した光量変化が得られる。

発明が解決しようとする問題点

このような光ファイバ型電圧センサでは、印加 電圧を V ・光源の波更を A とすると、印加電圧に よる光の位相差 Φ 付、次のような式で表わされる。

$$\phi = \frac{2\pi}{l} \cdot n_0^5 \cdot \tau_{22} \cdot \frac{\ell}{d} V \qquad \cdots \cdots (4)$$

ととで、n_O は、LiNbO₃ の常光線屈折率、 dはLiNbO₃ の厚さ、ℓはLiNbO₃ の長さ (電極長)である。

また、とのよりな光ファイバ製電圧モンサでは、一般的に光源として発光ダイオードを使用しているが、発光ダイオードLEDの発光炭長広がりの半値全巾がO.8 μm 帯LEDで100 nm 以上と、非常に広いため、例式で示すよりに、LEDの数長の巾により、位相差々に中か生じ、別定得度が悪化する。また、入力光ファイバから出射した光が出力光ファイバに入射するまでの距離か20m以上必要

第1図に本発明の光マイソレータについての一 実施例を示す。

半導体レーザ12から出射した直線個代の光を、 個変面保存型光ファイバ13の個光間有能に入射 する。とのため、光は直線個光とのたままたサ ァイバ13中を伝搬し、自己集束型レンズ14で 平行光となり、ボッケルス材料16を通過時に電 極16から印加される電圧に対応した位相変化を 受け楕円個光となる。との位相の変化は検光于18 で強度な化に変換され、自己集束型レンズ19で 出力用マルチモード型光ファイバに集光され伝搬 し、電圧の強度に比例した光量の変化が得られる。 暴明の効果

以上述べたように、本発明によれば、半導体レ ーザ12の発振液長広がりの半値全巾は一般的に 数 nm 程度とLEDに比べて非常に狭いために削 管理師の改築が可能とたる。

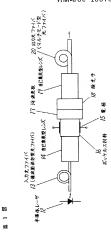
また、入力用の偏波面保存型光ファイバから出 射する光は直線偏光となっており、従来使用の偏 光子が不用となる。さらに、偏波面保存型光ファ イバのコア径は10ルm以下と微細であり、これ に比較して出力用のマルチモード光ファイバのコ ア径は50μm以上と比較的大きなものであるこ とから、入・出力光ファイバ間の光の結合損失は ほとんど無く、また能合せも非常に容易に行なり ととができるものである。

4、図面の簡単な説明

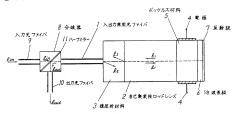
第1図は本発明の一実施例における光ファイバ 型電圧センサの機略構成図、第2図は従来のセン サの構成図である。

12……半導体レーザ、13……偏放面保存型 光ファイバ、2,14,19……自己集束型レン ズ、5,16……ポッケルス材料、4,15…… 電板、17……/放長根、18……検光子、20 ……マルチモード亜光ファイバ。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名



第 2 図



OPTICAL FIBER TYPE VOLTAGE SENSOR

Publication numbers JR

Last resurt 694. My patents list

Agvented Search

Chark Reach

edicion numbra __PR2189768
rention deles: 1987-40-30 |
REH_ZUNA SATOSHI KAMATA OSAMI.
NORTZAKI SUMIKO: TODA RAZUO: ISHRAWA
NORTZAKI SUMIKO: TODA RAZUO: ISHRAWA

Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND OO LID Classification: enternational: GD/R1524; GD/R1524; [PC1-7]; GD/R1507

Classification Search

Get assistance 🖒

Quest state

- Europeans Application numbers JP 19860042214 19860227 Priority numbers(4): JP 19860042214 19860227

WHILE DREXD OC. SMICHT SHOULD

View late of coing deciments

After days wit wit and Blund to shar on

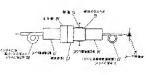
A the sectors in A set, see set of sectors in A set, see set of sectors in A set of sectors in sectors Adotand of JACRISTERS.

Animal of JACRISTERS and The International Conference of the Internati

When document in the Lucconar. Register

Way blan

TOPACA L



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide